

技術提案募集：堤防法面等における除草の効率化技術

求める技術	概要	
堤防法面等における除草の効率化技術	<p>現状 ・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河川堤防や管理ダムの土堤部の除草については、主に肩掛け式草刈り機により実施。 ・住民からの除草要望が多く、限られた予算の中での対応に苦慮しており、除草に係るコスト縮減が課題。
	<p>ニーズ (課題・条件等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・除草業務に係る発注金額の内訳としては、肩掛け式による草刈り作業に係る費用が大部分を占めているため、草刈り作業を効率化することで、コスト縮減に大きく寄与すると考えられる。 ・除草頻度については、河川堤防においては年1回、管理ダムの土堤部においては、市営公園として憩いの場となっている区間もあり、利用状況に応じて年2回又は年3回実施。 ・除草対象となる堤防や管理ダム土堤部の法面勾配は1:1.5～1:2.0が標準であるが、場所によって凹凸や小段により急な勾配変化あり。 ・肩掛け式草刈り機による除草に比べ、無人化・自動化等により、人の手間をかけず安価に実施できる除草技術を求める。